

自治体国際交流表彰 過去3ヶ年受賞団体の取組概要

【第7回】(平成24年度)

◆公益財団法人水戸市国際交流協会 (茨城県)

交流先	アナハイム市 (アメリカ合衆国 カリフォルニア州)
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災後にアナハイム市民から寄せられた約 1000 通の手紙の展示会の開催等、市民レベルでの交流を促進。 ・ 震災の経験や防災への取組について情報を共有。

◆大府市 (愛知県)

交流先	ポート・フィリップ市 (オーストラリア連邦 ビクトリア州)
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に環境保護の分野においてユニークな交流を実施。 ・ ポート・フィリップ市に生息するペンギンの保護活動のための募金活動。 ・ 同市からの呼びかけを契機とした市民清掃活動の開催。

◆周防大島町 (山口県)

交流先	カウアイ郡 (アメリカ合衆国 ハワイ州)
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化、産業、スポーツ等の分野で交流活動を展開。加えて、同郡とのフラダンスを通じた交流を縁として、国内でフラダンスを広めている福島県いわき市とも民間ベースで交流。 ・ さらに、いわき市とカウアイ郡の友好協定の締結、周防大島町からいわき市への東日本大震災後の被災者支援を契機として、3都市間交流へ拡大。

【第6回】(平成23年度)

◆横須賀市 (神奈川県)

姉妹提携先	メッドウェイ市 (イギリス)、ブレスト市 (フランス)、フリマントル市 (オーストラリア)、コーパスクリスティ市 (アメリカ)
取組概要	<ul style="list-style-type: none">・横須賀市はフェアトレードの啓発を国際化推進事業に位置づけ推進している。・姉妹都市交換学生事業を含む、都市間交流事業とフェアトレード啓発を結びつけることで、国際化施策を総合的に展開している。・姉妹都市交換学生事業では、高校生を姉妹都市に派遣し多文化共生を体験させている。平成23年度はフェアトレードを全体テーマとして、派遣準備研修、事前調査、現地調査、事後調査を通じてフェアトレードの意義を学び、横須賀市と各姉妹都市の市民意識等の比較をさせている。

◆釜石市 (岩手県)

姉妹提携先	ディーニュ・レ・バン市 (フランス)
取組概要	<ul style="list-style-type: none">・平成4年に釜石市で三陸・海の博覧会が開催され、ディーニュ・レ・バン市 (以下「ディーニュ市」) にある「アンモナイトの壁」の剥離標本が当博覧会のシンボルとなった。作成にはフランス技術団の協力があり、これが交流のきっかけとなった。・平成6年には姉妹都市を締結したが、平成12年頃から停滞していた。・東日本大震災直後の3月15日にはディーニュ市長の呼びかけにより市民が黙祷を行った。市広報誌でも釜石市の被災状況を掲載するなどしたことで、ディーニュ市議会や市民から、多くの義援金が集まった。・NPO 法人「国境なき子どもたち」の事業で釜石市の中学生が、「釜石市親善大使」としてディーニュ市長を表敬訪問し、釜石市の現状を伝えた。・東日本大震災を契機に、両市の強い絆を改めて確認することができた。

◆竹田市 (大分県)

姉妹提携先	バートクロツィンゲン市 (ドイツ)
取組概要	<ul style="list-style-type: none">・平成元年の友好都市提携を経て、平成16年に姉妹都市締結。・両市に湧出する炭酸泉を縁とした友好親善は、人的交流、文化交流にとどまらず、経済交流にまで広がるなど、非常に活発な交流が続いている。・東日本大震災後まもなく、バートクロツィンゲン市が募金活動を開始した。集まった多くの義援金は、竹田市を通して、竹田市と音楽姉妹都市である仙台市に送金された。・竹田市にある温泉施設「御前湯」と国際姉妹施設提携を結んでいる「ヴィタ・クラシカ」ではチャリティコンサートが開催された。・東日本大震災の状況を国際交流員 (ドイツ人) がバートクロツィンゲン市に逐一報告し、早期の募金活動の開始につながった。・直接の被災自治体ではない竹田市が、仙台市とバートクロツィンゲン市の橋渡し役となったことで、自身の交流の広がりにもつながった。

【第5回】(平成22年度)

◆高崎市 (群馬県)

姉妹提携先	バトルクリーク市 (アメリカ)、サントアンドレ市 (ブラジル)、承德市 (中国)、プルゼニ市 (チェコ)、モンテンルパ市 (フィリピン)
取組概要	<ul style="list-style-type: none">・高崎市は 1990 年に姉妹都市 4 市と「第 1 回高崎サミット」を開催し、文化・スポーツ交流事業を開始。・その後、環境をテーマとした「地球市民環境会議」を各都市持ち回りで開催。2006 年からはモンテンルパ市を加えた 6 市で、これまでの交流をさらに発展させ、環境問題の解決と各市の持続的な発展に努めていくことを共同宣言。・現在は環境を主要テーマとしながら、観光、都市交流等をサブテーマとして会議を継続しており、2011 年はバトルクリーク市、2012 年は高崎市で開催の予定。

◆金沢市 (石川県)

姉妹提携先	ナンシー市 (フランス)
取組概要	<ul style="list-style-type: none">・金沢市とナンシー市は 1973 年に姉妹都市提携し、両市の特徴である文化・芸術・歴史的まちづくりや、交換留学や教員交流等、教育に重点を置いた交流を継続。・両市による交流をもとに、2008 年に日仏交流 150 周年と姉妹都市提携 35 周年を記念し「第 1 回日仏自治体交流会議」(日本側 12 自治体、フランス側 17 自治体参加)をナンシー市 (フランス)にて開催。金沢市長は日本側参加都市を代表する議長を務めた。・2010 年には「第 2 回日仏自治体交流会議」(日本側 26 自治体、フランス側 18 自治体参加)を金沢市にて開催。また、両市の創造的な文化活動と革新的な産業活動を連環させ、都市の持続的発展を目指す「ものづくり協定」を締結。

◆宮城・ベラルーシ協会 (宮城県仙台市)

姉妹提携先	ミンスク市 (ベラルーシ)
取組概要	<ul style="list-style-type: none">・1996 年、2002 年、2007 年の三度にわたり、協会が主体となり仙台市民訪問団がミンスク市を訪問し、高齢化問題や教育事業等に関する意見交換、七夕制作体験等の市民交流事業を実施。また、チェルノブイリ原発事故の被災者救済を行うミンスク市支援のため高度医療機器を寄贈。・1991 年から仙台市で毎年開催している「仙台国際ハーフマラソン」に、ミンスク市からの訪問団を積極的に受入れ。また、協会の仲介による大学への新体操コーチの派遣など、スポーツや青少年同士の交流を継続。・2008 年には同協会の協力の下、姉妹都市提携 35 周年を記念し、仙台市にてミンスク市の写真展や紹介イベントを開催 (主催：仙台市、仙台国際交流協会)。